

第2回アンケート回答の手引き (Ver. 1)

内容

①アンケートサイトへのログイン	2
②パスワードを忘れた方.....	3
③回答を変更・確定する（ログイン後）	5
④回答を変更する〈詳細〉	8
（各トピックにおける第1回調査結果の確認と回答変更）	8
⑤その他（アンケートサイト・トップ画面の戻り方）	13

本アンケートについて

1. このアンケートは、我が国の科学技術発展の方向性を把握するため、文部科学省科学技術・学術政策研究所が実施するデルファイ調査です。調査結果は、科学技術・学術政策研究所ホームページに掲載され、第6期科学技術基本計画を始めとする科学技術イノベーション関連政策の検討に資します。
2. 第2回アンケートは、第1回アンケートの集計結果を確認・検討し、必要があれば、回答変更をいただくものです。ご自身の回答は、アンケートサイトのデフォルトで表示されます。
3. 個人情報等については、本調査の実施以外の目的には使用しません。
4. 第2回アンケートは、2019年5月31日(金)24時まで、第1回調査結果を踏まえ、「回答を送信する」を押してください。

① アンケートサイトへのログイン



【科学技術・学術政策研究所ホームページより、アンケートサイトへのアクセス】

科学技術・学術政策研究所のホームページの「最新情報」に掲載されている「デルファイ調査のご案内」より、アンケートサイトに入ることができます。



【ログイン画面】

アンケートサイトのログインの前に、『今回のご案内について(重要)』の記載内容をご覧ください。

***第2回アンケートの回答について**

本調査は、デルファイ法(複数回アンケート)に基づき行われるもので、第2回調査は、第1回集計結果を踏まえ、回答変更が可能な期間として設けたものです。

本調査の結果は、第2回調査後の結果を持って、全体の回答結果となります。お手数をおかけしますが、以下の手順で説明するアンケートサイトにログインいただき、第1回調査結果をご確認いただけましたら幸いです(もし回答変更があるようでしたら、回答変更も願います)。



第1回アンケート(2019年2-3月実施)時に回答者登録したメールアドレス及びパスワードを入力してください。

※パスワードを忘れた方は、ログイン画面から「パスワードを忘れた方」をクリックし、変更手続きをお願いいたします。

②パスワードを忘れた方

【ログイン】
ログイン画面に、「パスワードを忘れた方はこちら」を押してください。

【パスワードを忘れた方画面】
ご登録の「メールアドレス」を入力し、「送信」ボタンを押してください。



【パスワードのリセット・再登録画面】
受信したメールより、「パスワードをリセットする」を選択し、「パスワードの再設定」をしてください。



パスワード再設定

メールアドレス

パスワード

パスワード (確認)

パスワードを再設定する

③回答を確認・変更する（ログイン後）



【ログイン】

ログイン画面に、登録したメールアドレス、パスワードを入力し、「送信」を押してください。

※アンケートサイトのログインの前に、『今回のご案内について(重要)』の記載内容をご覧ください。

※うまくログインできない場合、ブラウザの「更新ボタン」もしくは、一旦ログアウトした上で再度ログインしてください。（PC上に、第1回調査のキャッシュ残っている場合がございます）



【第1回調査結果を踏まえ、回答の変更・確定を行う】

「回答を確認または変更する」をクリックしてください。

《次頁をご覧ください》

科学技術・学術政策研究所
Research Institute of Science and Technology Policy (ISTP)

デルファイ調査

回答を送信する
 (期間内は何度でも可能です)
 (変更がない場合も回答を送信してください)

ICT・アナリティクス・サービス

産業、ビジネス、経営応用(回答済み)

宇宙・海洋・地球・科学基盤
 (量子ビーム/光/放射・データ/核
 核字)

計算・数理・情報科学(回答済
 み)

ICT・アナリティクス・サービス

産業、ビジネス、経営応用

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

知的財産の扱いが明確化され、新規事業全体のうちオープンイノベーションによる新製品・サービスの割合が30%を超える



科学技術・学術政策研究所
Research Institute of Science and Technology Policy (ISTP)

デルファイ調査

回答を送信する
 (期間内は何度でも可能です)
 (変更がない場合も回答を送信してください)

ICT・アナリティクス・サービス

産業、ビジネス、経営応用(回答済み)

宇宙・海洋・地球・科学基盤
 (量子ビーム/光/放射・データ/核
 核字)

計算・数理・情報科学(回答済
 み)

ICT・アナリティクス・サービス

産業、ビジネス、経営応用

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

知的財産の扱いが明確化され、新規事業全体のうちオープンイノベーションによる新製品・サービスの割合が30%を超える

【第1回調査の回答を変更する】

アンケート画面には、第1回調査にて、あなたが回答した分野・細目の科学技術トピックが表示されます。

第1回調査結果は、各トピックを開くと、ご自身の回答の上部に表示されます。

調査結果を踏まえ、回答変更を行う場合は、該当箇所の回答を変更し、各トピックの下端にある『保存』ボタンをクリック下さい(注:『保存』ボタンをクリックしていないと、回答変更が行われません)。

※各トピックの回答変更画面は次頁を参照ください。

※回答変更したトピックは、トピック名のバーが青色から緑色に変わります。



全ての回答変更が終了しましたら、画面の左上にある『回答を送信する』を押して、第2回調査は終了となります。



◇回答を送信する(回答を確定する)

「回答を送信する」をクリックすると、「回答を確定して終了します」欄が表示されます。『回答を確定して終了』ボタンを押すことで、本調査の終了となります。

※回答変更期間中は、「回答を送信する」(『回答を確定して終了』)後においても、何度でも変更可能です。なお、2019年5月31日締切以後は変更できませんので、回答変更を行った場合は、「回答を送信する」(『回答を確定して終了』)ボタンを押すことをおすすめします。

④回答を変更する〈詳細〉

(各トピックにおける第1回調査結果の確認と回答変更)



【〈ログイン後〉第1回調査結果を踏まえ、回答の確認・変更を行う】

「回答を確認または変更する」をクリックしてください。



【第1回調査の回答を変更する】

アンケート画面には、第1回調査にて、あなたが回答した分野・細目の科学技術トピックが表示されます。

第1回調査結果は、各トピックを開くと、ご自身の回答の上部に表示されます。

※読み込みに時間がかかる場合は、ブラウザの更新ボタンを押してください。

回答を送信する
(期間内は何度でも可能です)
(変更がない場合も回答を送信してください)

ICT・アナリティクス・サービス

産業、ビジネス、経営応用(回答済み)

宇宙・海洋・地球・科学基礎
(量子ビーム/光/数値・データ/編
核字)

計算・数値・情報科学(回答済
み)

ICT・アナリティクス・サービス

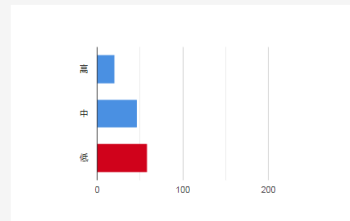
産業、ビジネス、経営応用

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

※赤い棒グラフは最頻値を示します。

専門度

このトピックに対する専門度を1つ選んでください。



高 中 低

【各トピックの第1回調査結果と回答変更について】

※第1回調査結果は、回答数を示しています。最頻値は、赤い棒グラフです。

◇専門度

回答変更がある場合は、変更願います。

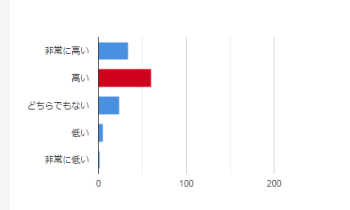
* 専門度について

各トピックのご自身の専門性

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

重要度

30年後の社会を実現するうえで、日本にとっての重要度を1つ選んでください。



非常に高い 高い どちらでもない 低い 非常に低い

◇重要度

回答変更がある場合は、変更願います。

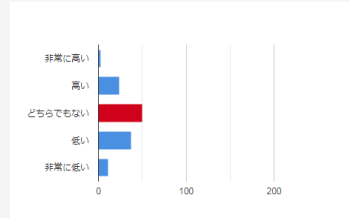
* 重要度について

本トピックについての総合的な重要度

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

国際競争力

現在の日本が置かれた国際競争力の状況を1つ選んでください。



非常に高い 高い どちらでもない 低い 非常に低い

◇国際競争力

回答変更がある場合は、変更願います。

* 国際競争力について

各トピックについての日本における現在の国際競争力

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

技術的实现 ?

世界のどこか（日本を含む）で技術的に実現する時期を予測し、1つ選んでください。

2025年以前

◇技術的实现時期

回答変更がある場合は、変更願います。

* 技術的实现時期について
= 世界のどこかでの实现時期

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

技術的实现のための政策手段 ?

技術的实现に向けて求められる政策手段は何ですか？（複数選択可・任意選択）

人材の育成・確保
 研究開発費の拡充
 研究基盤整備
 国内連携・協力
 国際連携・標準化
 法規制の整備
 倫理的課題の対応
 その他

◇技術的实现のための政策手段

回答変更がある場合は、変更願います。

* 技術的实现のための政策手段について

- 人材: 専門教育等を通じた人材育成及び研究関係従事者の確保
- 研究費: 特定テーマ、プロジェクトへの研究開発費の拡充などの資金・支援制度
- 基盤: 研究施設・設備や知的基盤・情報基盤などの基盤整備
- 国内: 産学官・分野間の連携など国内協力・連携体制の整備
- 国際: 国際連携プロジェクトの推進又は標準化など国際的な連携と体制整備
- 法規制: 法令・基準の緩和・廃止又は強化・新設
- 倫理: 倫理的・法的・社会的課題(ELSI)への対応
- その他: その他

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

社会的实现 ?

日本で社会的に実現する時期を予測し、1つ選んでください。

2031~2035年

◇社会的实现時期

回答変更がある場合は、変更願います。

* 社会的实现時期について
= 日本社会への適用もしくは日本が主体となって行う国際的な活動による实现

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

社会的実現のための政策手段

日本での社会的実現に向けて求められる政策手段は何か？（複数選択可・任意選択）

政策手段	評価割合 (概算)
人材の育成・確保	100
研究開発費の拡充	50
事業環境整備	40
国内連携・協力	30
国際連携・標準化	20
法規制の整備	15
倫理的課題の対応	10
その他	5

人材の育成・確保
 事業補助
 事業環境整備
 国内連携・協力
 国際連携・標準化
 法規制の整備
 倫理的課題の対応
 その他

◇社会的実現のための政策手段
 回答変更がある場合は、変更願います。

- * 社会的実現のための政策手段について**
- 人材: 専門教育等を通じた人材育成及び研究関係従事者の確保
 - 補助: 事業への直接補助・支援
 - 環境: ベンチャーや創業支援のための税制の措置、実証実験環境の整備など事業化のための間接支援施策
 - 国内: 産学官・分野間の連携など国内協力・連携体制の整備
 - 国際: 国際連携プロジェクトの推進又は標準化など国際的な連携と体制整備
 - 法規制: 法令・基準の緩和・廃止又は強化・新設
 - 倫理: 倫理的・法的・社会的課題(ELSI)への対応
 - その他: その他

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

自由記述

このトピックに、コメント（「その他」の具体的な内容など）がありましたら、記入してください。

◇自由記述
 回答変更がある場合は、変更願います。

*** 自由記述について**
 本トピックの特記すべき事柄

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

自由記述

このトピックに、コメント（「その他」の具体的な内容など）がありましたら、記入してください。

◇回答変更の保存
 「専門度」～「自由記述」における回答変更を行った場合、各トピックの下段にある『保存』ボタンをクリック下さい（注: 『保存』ボタンをクリックしていないと、回答変更が行われません）。

※回答変更途中の場合でも「保存」をクリックすることをお勧めします。



◇第2回調査の回答終了

全ての回答変更が終了しましたら、画面の左上にある『回答を送信する』を押して、第2回調査は終了となります。

※回答変更したトピックは、トピック名のバーが青色から緑色に変わります。



◇回答を送信する(回答を確定する)

「回答を送信する」をクリックすると、「回答を確定して終了します」欄が表示されます。『回答を確定して終了』ボタンを押すことで、本調査の終了となります。

※回答変更期間中は、「回答を送信する」(『回答を確定して終了』)後においても、何度でも変更可能です。なお、2019年5月31日締切以後は変更できませんので、回答変更を行った場合は、「回答を送信する」(『回答を確定して終了』)ボタンを押すことをおすすめします。

⑤その他（アンケートサイト・トップ画面の戻り方）

科学技術・学術政策研究所
Home 登録の手引き・お問い合わせ先

デルファイ調査

回答を送信する
(期間内は何度でも可能です)
(変更がない場合も回答を送信してください)

ICT・アナリティクス・サービス
産業、ビジネス、経営応用(回答済み)

宇宙・海洋・地球・科学基盤
(量子ビーム/光/数値・データ/素核宇)

計算・数理・情報科学(回答済み)

ICT・アナリティクス・サービス
産業、ビジネス、経営応用

顧客数や知的財産の重要度が高まり、企業価値を評価する際に、無形資産の評価割合が平均的に企業価値の70%に達する

知的財産の扱いが明確化され、新規事業全体のうちオープンイノベーションによる新製品・サービスの割合が30%を超える



〈アンケートサイトのトップ画面〉

科学技術・学術政策研究所
Home 登録の手引き・お問い合わせ先

デルファイ調査

回答を確認または変更する

回答履歴

分野	細目	第一回 回答状況	第二回 回答状況
ICT・アナリティクス・サービス	産業、ビジネス、経営応用	2019年03月19日	2019年05月09日
宇宙・海洋・地球・科学基盤 (量子ビーム/光/数値・データ/素核宇)	計算・数理・情報科学	2019年03月19日	2019年04月24日

利用規約 プライバシーポリシー

【回答画面からトップ画面の戻り方】

アンケートサイトの開始画面に戻る場合は、画面上部の「デルファイ調査」をクリックしてください。

※「科学技術・学術政策研究所」のロゴをクリックすると、科学技術・学術政策研究所のホームページが開きます。